

アラブ首長国連邦

United Arab Emirates

		2013年	2014年	2015年
①人口：958万人（2015年）	④実質GDP成長率（%）	4.7	3.1	4.0
②面積：7万1,024km ²	⑤消費者物価上昇率（%）	1.1	2.3	4.1
③1人当たりGDP：3万6,060米ドル （2015年）	⑥失業率（%）	n.a.	n.a.	n.a.
	⑦貿易収支（100万米ドル）	141,048	127,760	89,394
	⑧経常収支（100万米ドル）	74,118	58,734	21,593
	⑨外貨準備高（100万米ドル）	68,203	78,424	93,674
	⑩対外債務残高	n.a.	n.a.	n.a.
	⑪為替レート（1米ドルにつき、 UAEディルハム、期中平均）	3.6725	3.6725	3.6725

〔注〕④⑤：2015年は推計値、⑦：国際収支ベース（財のみ）

〔出所〕①③④：IMF、②⑤⑩：UAE連邦競争力・統計局、⑦～⑨：UAE中央銀行

2015年のアラブ首長国連邦の実質GDP成長率は4.0%と好調だった。しかし、油価低迷による原油収入の減少が非石油部門の成長を抑制し、2016年は2.3%に成長鈍化の見込みだ。2015年の直接投資は、対内、対外ともに前年より増加、対日および日本からの投資も拡大した。

前年の反動で油価低迷でも成長は加速

アラブ首長国連邦（UAE）政府は2015年の実質GDP成長率を2016年7月中旬時点で発表していないが、IMFは2015年の成長率を4.0%、2016年を2.3%と発表し、同時に2014年の成長率を前年の発表値である4.6%から3.1%に下方修正した（2016年7月発表）。

これは、2014年後半から続く油価低迷による石油部門への影響を見直したことによる。石油部門の成長率は、2014年が4.0%から0.8%へと大きく下方修正された反動で、2015年は4.6%成長となった。

一方、近年成長を牽引していた非石油部門の成長率は、石油収入の減少による財政の悪化を防ぐために公共投資を抑制したため、2014年4.1%、2015年3.7%と鈍化している。2015年のUAEの財政収支は2009年のドバイ・ショック以降初めて、GDP比マイナス2.1%と赤字に転落した。

2016年も油価の低迷が続き、財政状況がより厳しさを増すとみられることから、石油部門の成長率が2.0%、非石油部門が2.4%と2015年よりさらに鈍化し、全体として2.3%成長に低下するとみられている。

消費者物価指数（CPI）上昇率をみると、2015年は4.1%と前年の2.3%から上昇し、3年連続で上昇率が加速している。CPI上昇の主因は、家計

消費支出の約4割を占める住宅費が8.8%と上昇したことによる。ただし、2016年に入り、月別のCPI上昇率は前年同月比1～2%台に落ち着いている。IMFは2016年のCPI上昇率が3.3%に低下すると予測している。

石油輸出の減少で貿易黒字幅は縮小

2015年のUAEの貿易（フリーゾーン含む）を通関ベースでみると、輸出は前年比9.3%減で1兆2,243億UAEディルハム（以下、ディルハム）、輸入は1.7%増の1兆541億ディルハムとなった。貿易黒字は1,702億ディルハムと、前年より1,436億ディルハム減少した。

輸出額の減少は、石油部門の輸出が前年比42.9%減の2,340億ディルハムとなったことによる。一方で、非石油輸出、再輸出はそれぞれ、9.0%増、2.4%増と堅調な伸びをみせ、4,500億ディルハム、5,403億ディルハムとなった。輸入については、国内市場向けが1.0%増の7,035億ディルハム、フリーゾーン向けが5.5%増の3,355億ディルハムとともに増加した。

表1 アラブ首長国連邦（UAE）の輸出入<通関ベース>

（単位：10億UAEディルハム、%）

	輸出（FOB）					輸入（CIF）			
	2014年		2015年（暫定値）			2014年		2015年（暫定値）	
	金額	金額	構成比	伸び率		金額	金額	構成比	伸び率
石油輸出	410	234	19.1	△42.9	輸入（国内市場向け）	696	704	66.7	1.0
原油	331	180	14.7	△45.6	フリーゾーン輸入	318	336	31.8	5.5
非石油輸出	413	450	36.8	9.0	ガス輸入	22	15	1.4	△30.7
再輸出	528	540	44.1	2.4					
合計	1,350	1,224	100.0	△9.3	合計	1,036	1,054	100.0	1.7

〔注〕フリーゾーンへの輸出入を含む。

〔出所〕UAE中央銀行から作成

表2 アラブ首長国連邦 (UAE) の非石油部門の品目別輸出入
＜通関ベース＞

(単位：100万UAEディルハム、%)

地場輸出				
	2014年		2015年	
	金額	金額	構成比	伸び率
真珠・貴石・半貴石	45,023	75,019	46.5	66.6
アルミニウムおよび同製品	15,082	18,941	11.7	25.6
プラスチックおよびその製品	11,430	10,973	6.8	△4.0
鉄鋼	5,157	4,545	2.8	△11.9
塩、硫黄、石灰、セメント	4,086	4,509	2.8	10.4
合計（その他含む）	132,219	161,218	100.0	21.9
再輸出				
	2014年		2015年	
	金額	金額	構成比	伸び率
真珠・貴石・半貴石	91,581	73,578	33.2	△19.7
車両（鉄道・軌道用除く）およびその部品	36,681	31,872	14.4	△13.1
原子炉・ボイラー・機械類およびその部品	31,277	26,983	12.2	△13.7
電気機器およびその部品	22,528	25,935	11.7	15.1
航空機・宇宙飛行体およびその部品	6,106	5,985	2.7	△2.0
合計（その他含む）	243,734	221,419	100.0	△9.2
地場輸入				
	2014年		2015年	
	金額	金額	構成比	伸び率
真珠・貴石・貴金属	181,823	166,046	24.5	△8.7
原子炉・ボイラー・機械類およびその部品	78,304	77,029	11.4	△1.6
車両（鉄道・軌道用除く）およびその部品	70,994	70,140	10.4	△1.2
電気機器およびその部品	59,754	67,204	9.9	12.5
航空機・宇宙飛行体およびその部品	31,338	31,604	4.7	0.8
合計（その他含む）	696,426	676,375	100.0	△2.9

〔注〕本統計には、石油輸出およびフリーゾーンへの輸出入を含まない。統計にはFOB、CIFの記載がない。

〔出所〕UAE連邦競争力・統計局から作成

品目別の貿易額が発表されているのは、石油輸出およびフリーゾーンへの輸出入を除く地場輸出、再輸出、地場輸入のみである。この統計でみると、輸出総額（地場輸出+再輸出）は、3,826億3,600万ディルハムで、前年比1.8%増と微増であった。地場輸出は、2014年は10.8%減であったが、2015年はその反動もあり21.9%拡大した。増加要因は5割弱を占める真珠・貴石・半貴石が66.6%増、同じく1割強を占めるアルミニウムおよび同製品が25.6%増と好調であったことによる。真珠・貴石・半貴石の増加は、価格が35.9%下落したものの、数量が2.6倍

と大幅に拡大したことによる。アルミニウムおよび同製品輸出の増加も、価格が4.3%下落したが、数量が31.3%増となったことによる。

一方で、再輸出は、2014年は前年比5.0%増と比較的堅調に拡大したが、2015年は9.2%減となった。これは3割を占める真珠・貴石・半貴石が19.7%減と落ち込んだことが主因である。なお、電気機器およびその部品は15.1%増と好調であった。

地場輸入は、前年比2.9%減となった。減少の主因は真珠・貴石・貴金属が価格の下落を主因として8.7%減少したことによる。なお、電気機器およびその部品は12.5%増と拡大し輸入の減少を緩和した。

■直接投資は対内、対外とも増加

国連貿易開発会議 (UNCTAD) の世界投資報告によると、UAEの2015年の対内直接投資額（ネット、フロー）は、前年比1.4%増の109億7,600万ドルだった。対内直接投資が総固定資本形成に占める割合は前年から2.4ポイント上昇し13.7%となった。対内直接投資残高は1,111億3,900万ドル、GDPに対する割合は32.2%で前年から7.1ポイント上昇した。

外国企業のUAE企業に対するM&A（合併・買収）実績（いわゆるOut-in案件。トムソン・ワン集計）をみると、2015年は前年の41件から49件へと増加した。国別では、米国が8件と最も多く、英国が7件、オーストラリア、インドが各4件で続いた。日本からは、国際石油開発帝石がアブダビ政府およびアブダビ国営石油会社 (ADNOC) より、アブダビ陸上油田操業会社 (ADCO) の鉱区5%分の参加権益を獲得した。産業別では、ホテル業が4件と最も多く、次いで原油・天然ガス鉱業が3件、医療保険業、銀行関連機関などが各2件で続いた。

対外直接投資額（ネット、フロー）は2.7%増加し、92億6,400万ドルであった。総固定資本形成に占める割合は、2.2ポイント上昇し11.6%となった。対外直接投資残

表3 アラブ首長国連邦 (UAE) 企業に対する外資の主なM&A事例 (2015年)

(単位：100万ドル)

業種	企業名	国籍	時期	投資額	概要
投資業	シェアホールダーズ	エジプト	3月	1,708	ドバイのオラスコム建設の買収。
一般病院	エヌエムシーヘルス	英国	8月	161	アブダビの長期療養施設プロビタインターナショナルメディカルセンターの全株式を取得。
投資業	投資家グループ	バーレーン	1月	136	フジャイラのコンクリート会社オリックス工業の株式50%を取得。
一般病院	エヌエムシーヘルス	英国	4月	100	アブダビの在宅医療サービス会社アメリカグループを買収。
貨物輸送手配業	ケリーロジスティクスネットワーク	香港	3月	32	ドバイの輸送会社エイブルロジスティクスグループの株式70%を取得。
生命保険業	ナショナルインシュアランス	インド	11月	26	ドバイのリバティーハウス所有の居住賃貸物件6物件を取得。

〔注〕投資額が判明しているM&A案件を抽出。

〔出所〕トムソン・ワンのデータベースおよび各社発表、報道などから作成

高は873億8,600万ドル、GDPに対する割合は5.7ポイント上昇し25.3%となった。

UAE企業による外国企業に対するM&A実績（いわゆるIn-out案件。トムソン・ワン集計）は、前年の63件を大きく上回る83件であった。国別では英国が最も多く11件、次いで米国10件、トルコ6件、インド、エジプト、南アフリカ共和国が各4件で続いた。地域別では中東・北アフリカが25件で最も多く、欧州が24件、北米・中南米が17件であった。

産業別では、ホテル業が最も多く9件であった。ホテル業で金額が公表されているものの中では、アブダビ投資庁がマリオット・インターナショナルから2億3,000万ドルでマイアミ・ビーチ エディションの株式100%を取得した事例が最も大きかった。

UAEでの企業設立は引き続き活発であり、ドバイで新規に営業ライセンスを取得した企業（既存企業の追加取得、同一企業による複数取得を含むため、新規設立企業数ではない）は、2万2,369件となり、昨年より716件多かった。ドバイ商工会議所には2015年に新規に1万6,000社以上が加盟し、会員企業は18万5,000社となり、世界最大規模の商工会議所の一つとなった。

■輸送用機器が対UAE輸出を牽引

2015年の対日貿易を日本側の「貿易統計（通関ベース）」をドル換算したものとみると、輸出は86億9,700万ドル（前年比9.1%減）、輸入が235億2,000万ドル（44.0%減）となり、貿易赤字は148億2,300万ドルと前年より175億9,200万ドル縮小した。これは、原油価格の低下により輸入額が大幅に減少したことによる。輸出を品目別にみると、輸出はほぼ全ての主要品目で減少している。特に減少額が大きいのは、15.0%を占める原料別製品（24.9%減）および14.4%を占める一般機械（19.4%減）である。原料別製品では鉄鋼（25.2%減）、ゴム製品（29.0%減）

が、一般機械では建設用・鉱山用機械（45.8%減）の減少が大きい。

輸入を品目別にみると、96.8%を占める鉱物性燃料が44.6%減と大きく減少した。これは最大品目である原油が、1バレル当たり56.7ドルと前年の105.4ドルから急落したため、数量では1.7%増加したが、金額では45.3%減少したことによる。また、アルミニウムも日本の需要の減少を反映して14.1%減となった。

■拡大続く日系企業のUAE進出

日本の国際収支統計（ネット、フロー）によると、2015年の日本の対UAE直接投資額は前年比9.4%増となる105億円（投資額117億円、撤退12億円）であった。2016年第1四半期は308億円（投資額313億円、撤退額8億円）と既に2015年の規模を上回っている。

2015年5月以降、UAEに駐在員事務所・現地法人（現法）を設立した主な企業は、日置電機（5月）、リンナイ（6月）、高砂香料工業（9月）、ヤクルト本社（現法）（9月）、エルモ（10月）、川崎汽船（現法）（11月）などである。2016年に入ってから、飲食業のエイトは現地企業などと合弁会社を設立し、2016年1月に「茶近」（日本産ドライフルーツ販売、和風カフェ）を開店、三菱東京UFJ信託銀行（5月）は、中東地域における投資家との関係強化のため、日本の信託銀行としては初となる駐在員事務所を設立した。このほか、アシックスも5月に現法設立を発表している。

一方、UAEの対日直接投資（ネット、フロー）は、これまでほとんど実績がなかったが、2014年に300億円と急増し、2015年は310億円（投資312億円、撤退2億円）とその水準を維持した。2016年も堅調で第1四半期だけで98億円（投資127億円、撤退28億円）が投資されている。

表4 日本の対アラブ首長国連邦（UAE）主要品目別輸出入<通関ベース>

（単位：100万ドル、%）

	輸出（FOB）					輸入（CIF）			
	2014年		2015年			2014年		2015年	
	金額	金額	構成比	伸び率		金額	金額	構成比	伸び率
輸送用機器	4,994	4,935	56.7	△1.2	鉱物性燃料	41,139	22,774	96.8	△44.6
乗用車	3,410	3,403	39.1	△0.2	原油および粗油	32,290	17,659	75.1	△45.3
原料別製品	1,736	1,304	15.0	△24.9	石油製品	1,487	1,158	4.9	△22.1
鉄鋼	833	623	7.2	△25.2	揮発油	1,487	1,158	4.9	△22.1
一般機械	1,556	1,254	14.4	△19.4	液化天然ガス	4,946	2,818	12.0	△43.0
建設用・鉱山用機械	329	178	2.1	△45.8	液化石油ガス	2,416	1,138	4.8	△52.9
電気機器	619	561	6.5	△9.4	非鉄金属	740	635	2.7	△14.2
電気回路等の機器	69	101	1.2	44.7	アルミニウム	731	628	2.7	△14.1
合計（その他含む）	9,563	8,697	100.0	△9.1	合計（その他含む）	41,978	23,520	100.0	△44.0

〔出所〕財務省「貿易統計（通関ベース）」から作成